

滋賀県高P連会報

Mother Lake

滋賀県公立高等学校PTA連合会

〒520-0844 滋賀県大津市国分一丁目15-1

滋賀県立石山高等学校内

TEL/FAX : 077-599-0506 (事務局専用)

Eメール shiga-koup@river.ocn.ne.jp

ホームページ <https://www.shiga-koup.jimusho.jp/>

母なる湖・琵琶湖。—あずかっているのは、滋賀県です。

子どもの意見表明権



高P連 会長
炭谷 将史
(石山高校・副会長)

平素より各校PTAおよび滋賀県公立高等学校PTA連合会の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。令和7年度会長を務めさせていただきます炭谷将史と申します。令和2年度〜4年度にかけて3年間会長を務めさせていただきました2回目の登板となります。何卒、よろしくお願い申し上げます。

さて、令和7年4月1日から「滋賀県子ども基本条例」が施行されました。子どもの権利を明確に規定し、その擁護に対する基本的な考え方を示しています。ここでは特に、「子どもの意見表明権」に注目したいと思います。これまでの子どもたちの権利擁護は子どもを弱者(お客様)として扱うあまり、社会的な活動や意思決定から阻害してきました。いや、阻害されていたのは私たち保護者が子どもだった頃です。大人が決めたことを「やらされ」、不満を持っていた保護者のみなさんも少なくないのではないのでしょうか。これからの滋賀県では、子どもの意見に耳を傾けようという意思表示が、

この「滋賀県子ども基本条例」なのです。

子どもの意見を尊重するというのは、決して子どもの言うことを何でも実現するという意味ではありません。それではまた違った意味での「お客様」にしてしまいます。1989年に国連総会において採択された子どもの権利条約では意見をViewと表記します。OpinionとかRequestではありません。つまり、「〜するべきだ」とか「あれをして欲しい」という要求をなんでも聞き入れるという意味ではありません。あくまでも子どもから見えている世界、感じていることに耳を傾け、それを考慮に入れ、相談をし、一緒に社会のあり方を考えていくという意味です。

PTAは子どもたちのViewに寄り添い、生徒・教員・保護者が三位一体となって学校運営を考えていくプラットフォームの1つです。生徒たちができるだけ安心して学校に通い、学び、友達との時間、各種の活動を楽しむことができ、互いに育ちあう場所になるために、私たちができることを共にやっていきましょう。

*なお、「滋賀県子ども基本条例」はインターネットで閲覧可能ですが、全文はもちろん、概要や子ども用の分かりやすい版も閲覧できますので、ぜひご覧ください。

地域・学校・家庭をつなぎ、未来を拓くPTA活動



滋賀県教育委員会
教育長
村井 泰彦

滋賀県公立高等学校PTA連合会会員の皆様には、日頃より子どもたちの健やかな成長と教育活動の充実に多大なる御尽力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

本県では、「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり」を基本目標に、「『三方よし』で幸せ育む滋賀の教育」をサブテーマとする第4期滋賀県教育振興基本計画のもと、子ども一人ひとりの幸せ、教育に携わる人々の幸せ、そしてみんなが幸せになる地域づくりの「『三方よし』の実現を目指しています。

この基本計画において、「みんなで学びに関わる」が重点的に展開する柱の一つです。これは、子どもや学校だけでなく、家庭や地域、社会全体が生涯のあらゆる場面で学び、学びでつながり、学びの機会を支えていくことを目指すものであり、特に家庭と共に取り組む学びの推進において、PTAの皆様のお力添えを期待しているところです。

PTAは、長年に渡り、学校と家庭、地域をつなぐ大切な役割を担ってこられました。また、保護者同士が支え合い、共に親として成長する「親育ち」の機会を創出されるなど、社会教育関係団体として大きな功績を積み重ねてこられました。

昨今、「地域」ともにある学校や「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、学校運営協議会等への参画をいただくPTA関係の方が多数おられます。先生方とともに当事者意識をもって子どものために活動いただいております。PTAは学校教育を共に創造する大切なパートナーです。未来の創り手となる子どもたちが「滋賀で育ってよかった」と実感できるよう、共に取り組んでまいりたいと考えております。

これからもPTAは、子どものために学校と保護者がつながる大事な組織であり、保護者同士が支え合い、学び合い、つながりがある大事な組織であり続けること、また、誰一人取り残すことのない教育の実現に向けて、より良い取組が進められますことを心より期待申し上げます。

結びに、各校PTA、そして滋賀県公立高等学校PTA連合会のさらなる御発展と、会員の皆様の一層の御活躍を心より御祈念申し上げます。

令和6年度

P T A 功 勞 表 彰 受 賞 者 名

(敬称略)

高P連会長表彰状受賞者(26名)

伊香 虎姫 伊吹 長浜北星 長浜農業 河瀬 彦根翔西館 彦根東 能登川 日野 八幡商業 八幡工業 八幡 玉川 甲南 水口東 水口 国際情報 守山北 守山 草津東 東大津 高島 膳所 大津 瀨田工業(全日制) 山崎ゆかり 若林 中村 川島 善樹 雅恵 美穂

吉村 高橋 伊藤 山内 中島 小林 北坂 野瀬 久野 藤田 七里 濱頭 大谷 山本 大隅 山下 大原 平松 北脇すみよ 染田 亮子 松田 純子 清水 智治 山崎ゆかり

優康 淳真 子之 司人 誠弘 理恵 克之 定之 壽紀 剛史 涼香 忠司 英隆 智和 幸枝 亮子 純子 智治 山崎ゆかり

教育長感謝状受賞者(16名)

米原 長浜北 愛知 彦根工業 八日市南 八日市 甲西 信楽 栗東 湖南農業 草津 石山 北大津 堅田 安曇川

松田 鹿城 青木 志連 深尾 竹内 北野 中野佐智江 小谷 左知 武市 美紗 佐々木 久幸 前川 順子 勝見 順子 浅尾 昌治 上田 治樹 水岬 昌治

令和6年度 高P連広報紙コンクールの選考結果

1. 選考された広報紙

令和7年6月10日(火)開催の高P連第1回評議員会において表彰。



滋賀県立河瀬中学校・高等学校 [志成 Vol.117]



滋賀県立虎姫高等学校 [虎高P T A通信 No.155]

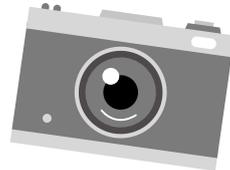


滋賀県立水口高等学校 [碧水 No.149]

2. 近畿大会について

次の1紙は、近畿地区高P連広報紙コンクールにおいて会長賞となり7月13日(日)に開催される近畿地区高P連兵庫大会で表彰されます。

会長賞……滋賀県立河瀬中学校・高等学校 [志成 Vol.117]



令和7年度 高P連役員等一覧

1 滋賀県高P連理事会役員			
会 長	湖 西	石 山	炭 谷 将 史
副 会 長 (3名)	中 央	日 野	川 嶋 あや子
	湖 南	草 津	谷 口 直 弥
	教 員	石 山	北 村 登志子
理 事 (10名)	湖 北	虎 姫	堤 義 定
	湖 東	彦 根 東	大 野 文 彦
	中 央	能 登 川	廣 瀬 勤
		玉 川	仙 敷 早貴子
	湖 南	守 山 北	足 立 昌 央
		甲 南	藤 居 範 行
	湖 西	高 島	渡 会 純 一
	教 員	膳 所	南 井 善 尋
	教 員	長 浜 北	大 森 文 友
	教 員	八 幡 商 業	松 村 友 二
監 査 委 員 (2名)	湖 北	長 浜 北 星	北 田 圭 一
	湖 東	彦 根 翔 西 館	若 松 信 子

2 地区別研修連絡協議会幹事		
湖 北	長 浜 北 星	北 田 圭 一
湖 東	河 瀬	川 口 純
中 央	日 野	川 嶋 あや子
湖 南	石 部	黒 岩 京
湖 西	高 島	渡 会 純 一

3 令和7年度滋賀県公立高等学校P T A会長									
湖 西	高 島	渡 会 純 一	湖 南	湖 南	石 部	黒 岩 京			
	安 曇 川	高 橋 有美子		中 央	八 幡	西 堀 英 二			
	堅 田	小 崎 志 穂			八 幡 工 業	川 下 広 子			
	北 大 津	柳 田 昌 彦			八 幡 商 業	西 浦 剛 史			
	大 津 商 業	中 島 美 幸			八 日 市	小 嶋 大 記			
	大 膳	佐 々 木 真 由 美			八 日 市 南	谷 田 司			
	膳 所	南 井 善 尋			日 野	川 嶋 あや子			
	石 山	谷 祐 治			能 登 川	廣 瀬 勤			
	瀨 田 工 業	中 村 哲 三		湖 東	彦 根 東	大 野 文 彦			
	瀨 田 工 業 (定)	安 里 恵 美			彦 根 翔 西 館	脇 坂 慎 介			
東 大 津	川 口 薫	彦 根 工 業	小 西 佐 織						
草 津	谷 口 直 弥	愛 知	桑 原 秀 幸						
草 津 東	津 田 真 由 美	河 瀬	川 口 純 一						
湖 南 農 業	竹 岡 勝 之	長 浜 北 星	荻 原 英 樹						
守 山	柏 山 恵 子	長 浜 農 業	中 川 吉 彦						
守 山 北	足 立 昌 央	長 浜 北 星	北 田 圭 一						
栗 東	橋 本 至 浩	米 原	植 田 勝 彦						
国 際 情 報	林 小 悠 希	伊 吹	安 藤 誠 定						
野 洲	小 森 由 宗	虎 姫	堤 千 田 義 壮						
水 口 東	竹 治 潤 一 郎	伊 香							
甲 南	藤 居 範 行								
信 楽	谷 弘 樹								
玉 川	仙 敷 早 貴 子								
甲 西	中 井 浩 喜								

令和7年度 第1回高P連評議員会開催

令和7年6月10日(火)第1回高P連評議員会(総会)が、彦根勤労福祉会館で開催され、各単位PTAより会長と校長が出席されました。

開会行事に続き功労者表彰式が行われ、令和6年度のPTA会長16名に教育長表彰として川口進一郎 生涯学習課参事から感謝状と記念品が、26名に連合会長表彰として 前川久幸連合会長から表彰状と記念品がそれぞれ贈呈されました。

また、広報紙コンクールの優秀校として、入賞校3校に、前川久幸 連合会長から表彰状と記念品がそれぞれ贈呈されました。

その後、議事に移り、令和7年度連合会長に 炭谷将史 石山高等学校副会長が正式に承認され、すべての議案が原案どおり承認・可決されました。



今できる事



高P連 副会長
川嶋あや子
(日野・会長)

この度、令和7年度滋賀県立高等学校PTA連合会副会長を務めさせていただく事になりました日野高等学校の川嶋と申します。日頃はPTA活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

子育てでも終盤にかり、子ども達に何が出来るだろう？何を伝えておくべきか？などと考えていた所にこの役が舞い込んできました。これも何かのご縁かと思ひ役を引き受けさせていただきました。慣れない大役に責任の重さを感じておりますが、皆さまの力をお借りしながら一年間精一杯頑張りたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

役を引き受けた際に子どもから「そう言えばPTAって何の略?」と質問され「PはParent (保護者)、TはTeacher (先生)、AはAssociation (つながりや団体)で、子ども達の健全育成を目的として保護者と教職員が協力してお互いに学び合い活動する団体ということかな。」と会話したのを覚えています。何気ない会話ですが、今までとは違う子どもの気づきに成長を感じ

ました。

高校時代は保護者が直接子ども達に手を差し伸べる事が出来る最後の時期かもしれません。私もこの一年間で様々な方と出会っていきたく思います。

最後になりましたが、教育現場を支えてくださっている教職員の方々にPTA会員の皆さまと共に子ども達が安心して学び、成長できる環境づくりに取り組んで参りたいと思ひますので、今後ともPTA活動への温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



見えていますか? 子どもたちの心の声



高P連 副会長
谷口 直弥
(草津・会長)

滋賀県高P連の皆様、日頃より子どもたちの教育環境整備にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。しかしながら、私たち保護者は、その取り組みの先に、本当に子どもたちの「心の声」が届いているのか、時に不安を感じることがあります。

学力向上や進路実現は確かに重要です。しかし、それ以上に、

変わらないもの



高P連 副会長
北村登志子
(石山・校長)

平素よりPTA活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今年度、副会長を務めます石山高等学校の北村です。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、県高P連の目的の一つに、「高等学校教育の充実発展を図り、その振興に寄与する」とあります。目的達成のためのアプローチは様々ですが、家庭の役割、学校の役割をそれぞれが果たすとともに、手を携えて子どもたちの学びの場・育ちの

場を整えることが肝要と考えます。

社会や経済、文化や価値観など、様々な分野がいわゆるパラダイムシフトの様相を呈する中、学校や教育の場でも変化への対応や、既成概念の問い直しを求められる場面があります。また、「家」や「家庭」に対する考え方も多様化しています。

そうした中であっても、子どもの学びの場や育ちの場、教育環境を整えるという家庭や学校の役割は変わりません。子どもが主役であるという思いは同じです。

今後とも、PTA活動へのご理解とご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。

子どもたちが抱えるストレスや将来への漠然とした不安、友人関係の悩み、SNSでのトラブルなど、目には見えにくい心の叫びにも、どうか耳を傾けていただきたいと思います。学校生活の中で、孤立している生徒はいないか、いじめの芽が育っていないか、あるいは、多様な個性を持つ子どもたちが、型にはめられず、自分らしく輝ける場所があるのか。

高P連の皆様は、学校と家庭、そして地域をつなぐ重要な架け橋です。会議室での議論だけでなく、時には学校現場に足を運ぶ、生徒たちの日常に触れる機会を増やしてみたいかがでしょうか。目安箱の設置や、生徒会との定期的な対話、あるいは匿名で意見を吸い上げる仕組みづくりも有効かもしれません。子どもたちの「心の声」は、時に小さく、時に複雑で、聞き取りにくいものかもしれませんが、しかし、その声に真摯に向き合うことこそが、子どもたちの健全やかな成長を促し、ひいては滋賀県の教育の未来を豊かにすると信じています。子どもたちが安心して学び、成長できる環境を共に築いていくために、高P連の皆様のご協力をお願い申し上げます。

令和7年度高P連事業の重点目標

1. 県教育委員会生涯学習課とともに、PTA活動の在り方についてガイドラインを作成するとともに、会則の見直しを行う。(授業料等納入に関する経費について整理する)
2. PTA会員相互の親睦を深め、情報交換を図るとともに各種の研修に取り組み。
3. 関係機関との連携を図り、高校生の健全育成と自立性を育てることに努める。
4. 教育環境の整備を進め、高等学校教育の充実発展に寄与する。
5. 人権教育の充実を図るとともに、各種の大会に参加して発表する。
6. 高校生活の安全・安心を目的とし、各種補償制度等を充実する。

令和7年度高P連行事予定表

年	月	日	曜日	内 容
7	4			(P)県PTA会長等代表者研修会(3月末:オンデマンド配信)
		18	金	(P)県立高校PTA事務担当者会議(彦根勤労福祉会館)
	5	10	土	(P)令和6年度県高P連会計監査・第4回理事会(彦根勤労福祉会館:3F中ホール)
		24	土	(P)第1回県高P連本部役員会・理事会(G-NETしが)
	6	10	火	(P)第1回県高P連評議員会[総会](彦根勤労福祉会館)
		28	土	(P)全国高P連定時総会(東京ガーデンパレス)
		29	日	(P)〃 第1回委員会(同上)
	7	12	土	(P)近畿地区高P連総会・専門委員会(アクリエひめじ:姫路文化コンベンションセンター)
		13	日	第50回近畿地区高P連大会兵庫大会(同上)
	8	2	土	(P)第2回県高P連本部役員会・理事会(G-NETしが)
		21	木	第74回全国高P連大会三重大会[分科会](三重県:津市産業スポーツセンター)
		22	金	〃 〃 [全体会](三重県:同上)
9	未定		県高P連令和8年度教育予算充実要望(県庁)	
10	4	土	(P)全国高P連第1回全国会長・事務局長連絡会(広島ガーデンパレス)	
	5	日	(P)全国高P連第2回委員会(同上)	
	18	土	(P)第1回近畿地区高P連役員会(和歌山県:県民文化会館)	
11	11	火	(P)第2回県高P連評議員会[研修会](彦根勤労福祉会館)	
	15	土	第69回滋賀県人権教育研究大会[全体会](高島市)	
	16	日	〃 [分科会](高島市)	
8	1	10	土	(P)県高P連総務委員会、第3回県高P連本部役員会・理事会(G-NETしが)
		31	土	(P)全国高P連第2回全国会長・事務局長連絡会(東京ガーデンパレス)
	2	1	日	(P)〃 第3回委員会(同上)
	3	7	土	(P)第2回近畿地区高P連役員会(和歌山県:県民文化会館)

滋賀県高P連の現状

令和7年度...県立高等学校45校が加盟

令和7年5月1日現在(各単位PTAからの報告による集計)

高P連加盟校	学校数 ②	在籍生徒数	PTA会員数 ③	PTA会員数の内数	
				教職員数	保護者数
全日制高校	44	26,831	28,869	2,162	26,707
県立中学校	3	719			
定時制高校 ①	4	267	313	63	250
合計		27,817	29,182	2,225	26,957

- ①定時制高校...瀬田工業高校(定時制)には単位PTAがある。
- ②学 校 数...45校【全日制高校44校と瀬田工業高校(定時制)】
- ③PTA会員数...県立中学校は全日制高校に含む。

全国高P連の現状

全国48団体(47都道府県+1市)の高P連で組織

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
加盟生徒数	2,003	2,944	3,897	5,194
加盟校数	0	4	7	11
加盟生徒数	0	4	7	11
加盟校数	0	4	7	11
加盟生徒数	0	4	7	11
加盟校数	0	4	7	11
加盟生徒数	0	4	7	11
加盟校数	0	4	7	11
加盟生徒数	0	4	7	11
加盟校数	0	4	7	11
加盟生徒数	0	4	7	11
加盟校数	0	4	7	11

令和7年度高P連大会日程

- (1) 第50回近畿(兵庫)大会
 - ・日程 令和7年7月13日(日)
 - ・会場 アクリエひめじ
- (2) 第74回全国(三重)大会
 - ・日程 令和7年8月21日(木)
 - ・会場 津市産業スポーツセンター

編集後記

今年4月から前川嶋典明事務局長の後任としてお世話になります。日夏昭三と申します。微力ではありますが、一杯取り組みたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

6月10日(火)、第1回評議員会において令和7年度の新しい理事役員が選任され、今年度の高P連がスタートしました。また、7月13日(日)には近畿大会兵庫大会が、8月21日(木)22日(金)には全国大会三重大会が開催されます。多くの会員の皆様のご参加を期待しております。今年度も当連合会へのご理解ご協力をお願い申し上げます。高P連事務局